

(提言のポイント)

グローバル課題への対応と外交機会の活用

- 提言 1 : 「科学技術イノベーションを通じてグローバルな諸課題の解決を主導し、望ましい国際環境の実現をはかる」との外交姿勢を確立する(科学技術外交を日本外交の新機軸として明確に位置づける)。
- 提言 2 : 国際社会で将来的に重要になり、我が国が指導力を発揮しやすい「次なる課題」をいち早く特定する仕組みを構築する。
- 提言 3 : 特定された課題をもとに、科学的根拠を伴う外交アジェンダを提示し、国際的取組を主導する。

外交上重要性の高いパートナー諸国や新興国等との協力関係強化

- 提言 4 : 外交上重要性が高いパートナー諸国との戦略的な共同研究開発を推進する。
- 提言 5 : 日本企業の海外展開を支援するとともに、新興国等のイノベーション人材育成や科学技術イノベーションに関する政策立案能力向上を積極的に支援する。
- 提言 6 : 地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS) や第三国と連携して ODA を活用する三角協力を通じた新興国・途上国との協力強化、イノベーションを重視した新興国や ODA 卒業国向けの戦略的共同プロジェクト立ち上げを進める。
- 提言 7 : 人材育成協力(工学系大学支援など)を強化し、次世代のネットワーク構築を進める。
- 提言 8 : 科学技術人材を民間交流を通じた外交活動に活用する。

外交政策の立案・実施における科学的知見の活用強化

- 提言 9 : 外務大臣科学技術顧問を試行的に設置する。
- 提言 10 : 関係府省・機関・学識経験者・産業界との連携を強化するための国内及び国外のネットワークを構築し、外務大臣科学技術顧問を補佐する体制を整備する。
- 提言 11 : 我が国の在外公館の科学技術担当官の能力及び人員数の増強をはかる(本省や他公館との情報共有・連携の深化、研修機会の拡充など)。

科学技術外交を支える人材の育成

- 提言 12 : 中堅・若手研究者を外交政策立案に参画させる(外務省内で勤務、科学技術顧問の補佐、国際機関への送り込み)。

対外発信・ネットワークの強化

- 提言 13 : 「科学技術イノベーションを通じてグローバルな諸課題の解決を主導し、望ましい国際環境の実現をはかる」とのメッセージを、首相や外相等のハイレベルから国際社会に対して積極的に発信する。
- 提言 14 : 有力な科学技術関係団体を戦略的にターゲットしつつ知的交流を推進し、科学技術外交ネットワークを強化する。
- 提言 15 : 科学者派遣や内外の展示施設など(例: ジャパン・ハウス)との連携を図り、我が国の科学技術の対外発信を強化する。